大仙市立中仙小学校　学校報

# 輝く ひとみ

令和２年度 第２２号
令和２年６月２２日

学校教育目標　　ゆめにむかって えがおいっぱい みんなでチャレンジ

## ２回目の授業研究会を行う（算数科）

先週木曜日、教育事務所から小田長指導主事を招き、２回目の授業研究会を行いました。教科は算数です。２年生と６年生、いずれも二人の教員が指導する「ＴＴ学習」で実施しました。本校では、すべての学年で「ＴＴ学習」を取り入れており、その中心となる教科が算数です。

２年生は、「何十±何十の計算」を学習しました。１０のまとまりをもとにして考えると簡単に求めることができることに気付きました。一人一人自分の考えを、文や図で表現できることに驚きました。一方、６年生は「分数のわり算」の学習でした。小学校で学習する計算の集大成となるものです。私たち大人は、単純に「わる数の分母分子をひっくり返して、かける」と覚えていると思いますが、どうしてそのような計算の仕方ができるかを探る学習です。どちらの授業でも、自分の考えにこだわりをもって解決していく姿が印象的でした。たくましく感じました。

## ここにも「掃除名人」が！

この日は歯科検診があり、学年ごとの清掃でした。１階の教室前を通ると、いましたいました「掃除名人」が。「２年生の荒川めぐさん」です。廊下との仕切りになっている窓枠を、ていねいに何度も何度も拭いていました。

これまで紹介した名人のほかにも、「歩き方名人」や「受け答え名人」、「えがお名人」など、さまざまな名人を紹介していきます。

## 八乙女山の桜は私たちが守る

金曜日、八乙女山を守る会のご協力で、６年生が「施肥作業」を行いました。ここ１０年以上続いている八乙女学習の一つです。ソメイヨシノの寿命は５０～６０年と言われていますが、八乙女公園の桜は１００年以上の木もたくさんあります。こうして、丁寧な管理がされているからこそ、寿命も伸び、毎年、美しい花が咲き誇るのだと知りました。

## 図書の管理をサポート

中仙図書館（ドンパル内）から月に数回いらっしゃり、学校の図書室のサポートをしてくだる方がおります。この日は、長澤久美子さんでした。感謝申し上げます。

## 雷にお気をつけください

梅雨に入り、肌寒かったり、蒸し暑かったり。また、突然の雷雨と、不順な天候も時折。コロナやクマと同様、雷にも十分にお気を付けください。

その１１

# 本校の歴史をたどる

このコーナーは、本校のこれまでの半世紀をたどり、次の時代にに向けてエールを送るものです。

昭和４４年の三月定例議会施政方針で町長さんが「長野小の再建は統合で」述べたことを受け、小学校統合についての臨時町議会この年の９月８日に開かれました。

昭和４４年１０月１５日付の広報の２ページめ

## 町議会で決めたこと　長野、鶯野、鑓見内３校統合決まる

### 統合してスクールバスを運行

この臨時議会の議案は町立学校条例の一部改正の議案２件と、町立幼稚園条例の一部改正が一件で、特に町民関心の的である長野、鶯野、鑓見内小学校統合についての議案に論議が集中しました。

この統合について具体化したのは昨年１２月長野小学校が焼失し、校舎再建について町長より「将来、鶯野、鑓見内両校とも、年々児童数が減少して学級数の減が予想され、学力の低下が当然起きてくるので、この際３校統合を進めていきたい。また、長野小を再建するには全額町で負担しなければならないが､統合すると半額は補助のある利点もあるし、統合することにより先生も多くなり、一学年多学級になり学級相互の励まし合いにより学力の向上が期待できることなどからぜひ統合を進めたい。」と提案があり、たびたび議会で協議した結果、議会としても統合に賛成したのが今までの経過です。

町長より臨時議会を開いた理由について「来年度に学校建設の計画書を提出しなければならないので、地域の納得は十分でないが提案した。実際の合併は２、３年後になると思うので、それまで地域住民と話し合っていきたい。地元で心配しているのは、通学の問題と現在の建物をどうするかということだと思う。これはスクールバスの運行と建物は独立公民館とすることで解決したい。」と述べ、慎重審議の結果賛成多数で議案３件が可決成立しました。なお統合小学校の学校名を「中仙小学校」と決めました。

また、鶯野、鑓見内地区議員５名から統合に対する１０項目の要望が出され、これを決議しました。

そして、半年後には３つの校舎での中仙小学校がスタートします。

新校舎での学習は２年後昭和４７年からとなりますが、校舎建築も含めて、統合についてはトントンと進んだことになります。

スクールバスは今現在も開校時と同様に運行しています。青バス、緑バス、赤バスは地域の方々にも知られた車両になっています。利用児童数は６２人（冬場は６６人）です。全校児童のおよそ４割にあたります。